

三重県戦後80年事業  
三重県と広島県の高校生による活動発表会

**8月24日(日)**  
開催

高校生による発表に加え、原爆投下前後の白雲を撮影した白鳥写真家が「化する」記憶の継承」に取り組む、原田浩志さんによる特別講演と写真展示も行います。

日時：8月24日(日) 13時~15時  
会場：ハートプラザあそびの 多目的ホール  
〒514-8588 伊勢市東町1-1-10  
※雨天決行 伊勢市東町1-1-10


1 原田浩志氏による特別講演  
2 三重県立伊勢高等学校による活動発表  
3 広島県立安芸府中高等学校による活動発表  
4 広島県高松市と原田氏による意見交換

お問い合わせ先  
三重県 政府企画部 国際交流課  
電話：059-224-2009  
E-mail: isosaka@pref.mie.lg.jp

**原子爆弾の投下**  
1945年8月9日(木曜日) 午前8時15分、広島に、原子爆弾が落とされました。




**ヒロシマの少女**



原爆投下時、広島市にいた少女の物語。彼女が経験した恐怖と、戦後どのように生きてきたのか。彼女の人生を通して、戦争の残酷さと平和の大切さを伝える。

熱い思い  
原爆投下後、多くの人が避難先で生活しました。しかし、戦争の影響は長く続きました。多くの人が、戦争の記憶を語り、平和を祈りました。


原爆投下の瞬間  
1945年8月9日、広島に原子爆弾が落とされました。瞬間的な破壊と、多くの犠牲者を出しました。

**思い出の折り紙**



折り紙は、戦争中にも作られていました。折り紙を通して、平和を願い、希望を伝える。

**この下で私たちは**




原爆投下後、多くの人が避難先で生活しました。彼らは、戦争の影響を乗り越え、平和な生活を送るために努力しました。



広島に投下された原子爆弾「リトルボーイ」(実物大)  
長さ: 約3m 直径: 約70cm 重さ: 約4t  
写真: 7/11/1945 伊勢市立歴史博物館




原爆投下の瞬間



原爆投下の瞬間、広島市に落下した原子爆弾の威力は想像を絶するものでした。多くの犠牲者を出し、多くの建物が壊滅しました。

原爆投下の瞬間



原爆投下の瞬間、広島市に落下した原子爆弾の威力は想像を絶するものでした。多くの犠牲者を出し、多くの建物が壊滅しました。